

「頑張る地方応援懇談会 in 富山」議事概要

1 日 時 平成19年2月24日(土) 15:00~16:30

2 場 所 「パレブラン 高志会館」
富山県富山市千歳町1-3-1

3 出席者

【市町村長】

もり	まさ	し	とやま
森	雅	志	富山市長
みぞ	ぐち	すすむ	なんと
溝	口	進	南砺市長
ぶん	け	しず	お
分	家	静	いみず
い	とう	ひさ	しみち
伊	東	尚	志
うお	づ	りゆう	い
魚	津	龍	あさひ
		一	朝日町長

【総務省】

か	わ	い	つね	のり	
河	合	常	則		総務大臣政務官
おか	ざき	ひろ	み		官房審議官(税務担当)
岡	崎	浩	巳		
よし	ざき	まさ	ひろ		大臣官房企画課長
吉	崎	正	弘		
いな	やま	ひろ	し		自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室長
稲	山	博	司		
たん	げ	こう	い		自治財政局公営企業課長
丹	下	甲	一		
やま	ぐち	ひろし	浩		北陸総合通信局情報通信部長
山	口				

4 次 第

(1) あいさつ

- ① 河合常則 総務大臣政務官
- ② 森 雅志 富山市長

(2) 総務省からの説明

- ① 頑張る地方応援プログラムについて
- ② 地方行財税制上の諸課題等について

(3) 意見交換

5 要 旨 〔主な意見〕

(1) 市町村長

- ・歳出・歳入一体改革という去年からの言葉自体が、順序が逆ではないか。もっと歳入についてきちんとした議論を国会でやっていただきたい。
- ・自治体の取り組みを評価するに当たり、きめ細かくそれぞれの自治体の努力について評価していただきたい。
- ・交付税の所要額確保に向けて、一層お力添えをいただきたい。
- ・条件不利地域の地域の状況に配慮するとあるが、これが少し見えてこない。
- ・公債費負担の軽減に当たり、予算の範囲内で一定程度手の挙げた団体に、全体の予算の範囲の中で対象事業の厳選をしていただきたい。
- ・若年者就業率があるが、当市のような高齢化が40%のところは年寄りが働かないと社会が維持できない。年寄りの就業率の方がよほど頑張る指標になる。
- ・弟が川崎市に住んでおり、介護保険料は川崎市に払っているが、親は富山市にいることから、富山市に寄附をしたいと盛んに言っている。ぜひとも上限を定めて税額控除できる制度を作ってもらいたい。
- ・下水道を新規にする場合、25年と言わず、30年・35年と耐用年数がそれだけあるので、それに近いものに手を貸してもらいたい。

(2) 総務省

- ・9つの成果指標の取り方はまだ決めておらず、どのような評価にするか、市町村長の意見を聞いて反映させていきたい。
- ・資料の10のプロジェクトはあくまでも例示であり、従来から取り組んでいるものでも成果目標をきちんとして市民に公表することで対象になる。
- ・成果指標の数値の取り方について、市町村長のご意見も参考にしながら、最も適切な方向で考えさせていただきたい。
- ・非常に条件が不利な地域において、地域振興を熱心に行っている団体もあることから、既に本年度から行革のインセンティブ算定の中に、割り増し算入をさせていただいている。これらも参考に19年度交付税算定に反映させていきたい。
- ・公債費負担の軽減における財政融資資金、簡保資金の繰り上げ償還については、合併市町村が非常に行革努力をされているという評価から、これらを優遇するという方向で要件を詰めていきたい。
- ・ふるさと納税制度という話題が昔からあり、今、税制の格差があるのではないかという中で、また同様の話が出てきており、この税額控除の話しについては、議論を含めて今後検討しようと思っている。
- ・寄附文化を日本でも育てようと、社会福祉法人、学校法人、NPOに対する寄附

等、他にいろいろあるのではないかという議論をまとめて、今年の夏以降議論しようと思っている。その中で、他の地方団体への寄附についてどのくらい手厚い措置をするかという議論をしていく考えであるので、ご意見を踏まえ、財務省も含めて税制としてどのような控除が可能か議論していきたいと思っている。

- ・ 5%以上のものの繰り上げ償還について、詳細はこれからだが、5%台、6%台、7%以上と3ランクに分け、基本的に7%以上のものかなり多くは繰り上げ償還の対象にしようと考えている。
- ・ 成果指標における若年就業率とか出生率には必ず分母があるわけで、団体の分母に対して全国平均より上か下かということを考えれば、それなりに適正な水準がとれるのではないか。
- ・ 下水道の耐用年数と償還期間の話については、現在のところその差を埋めるべく平準化債により、つなぎ資金のようにさせていただいている現状である。
公営企業金融公庫が20年度から新しい組織になるので、需要に応じてこれからは検討すべきだと理解しているところ。
- ・ 今年度は9つの成果指標にさせていただき、次年度以降のものはご提案願いたい。
アウトプットの評価については、もう少し時間があるので、ぜひまたご要望をいただきたい。

(以上)